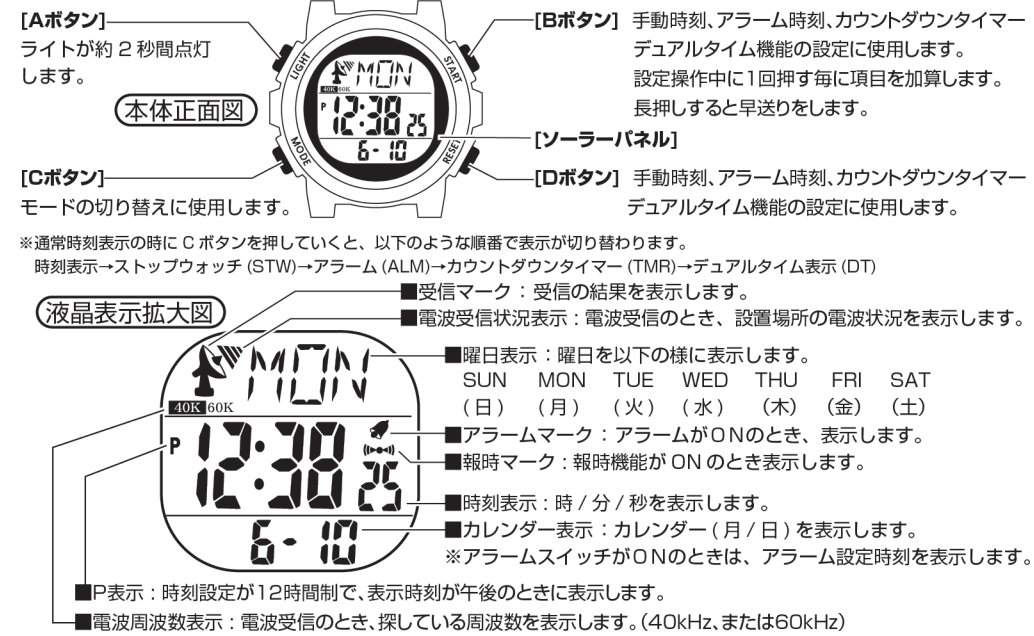


各部の名称

注意 ご購入の商品により、各部の配置・サイズ・形状等が異なりますが、操作方法は同じです。あらかじめご了承ください。



受信機能

手動受信について
① **B ボタン** を 2 秒以上押す。→「ビッ」と確認音が鳴り、手動受信が開始され、電波マーク が点滅し始めます。
時計を水平の状態にして、電波状態の良い位置を探して下さい。
※電波受信中に **B ボタン** を押すと電波受信を終了します。
※約 4 分後に受信は終了しますが、電波状況によってはそれ以上かかる場合もあります。
※受信に失敗した場合は時計の向きを確認し再度手動受信を行って下さい。
② 受信の結果を確認する。下記「**受信の状態について**」を参照。
自動受信について
本製品は、時刻を修正するために、毎日、内蔵プログラムにより自動電波受信を行います。電波を受信できない場合、内蔵クォーツの精度で計時し、次の自動受信時間(AM12:00 AM4:00 PM6:00の計3回)に再び電波受信を行います。

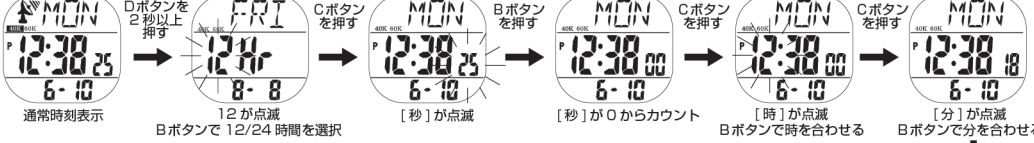
受信の状態について
電波の受信状況は (図 1) のように表示されます。
手動で時刻を設定する
電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。
本書 **手動で時刻を設定する** を参照。



手動で時刻を設定する

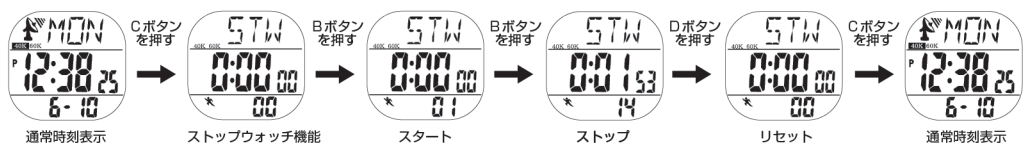
注意 設定中の点滅は約60秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して、通常表示に戻ります。

① 通常時刻表示のときに、**D ボタン** を 2 秒以上押す。
→「ビッ」と確認音が鳴り、時刻設定モードに入り、[12] もしくは [24] が点滅します。
② **B ボタン** を押して [12/24 時間表示] を設定する。
③ [12/24 時間表示] を設定したら、**C ボタン** を押す。→[秒] が点滅する。
④ **C ボタン** を押すごとに [12/24 時間表示]→[秒]→[時]→[分]→[年(西暦)]→[月]→[日] が点滅するので **B ボタン** を押してそれぞれを設定する。
※[秒] は **B ボタン** を押すごとに 00 秒に設定されます。
⑤ [日] の設定が終了したら、**D ボタン** を押す。
→点滅が終了し、設定された時刻と日付が表示されて、時刻・日付設定が完了します。

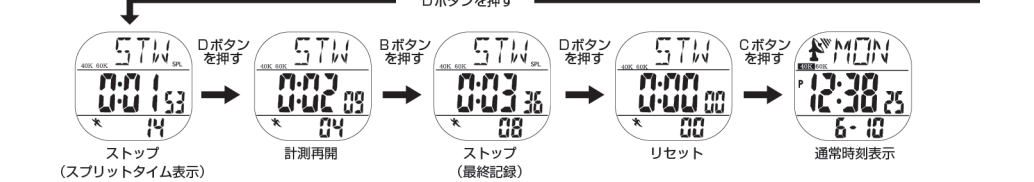


※[年・月・日] を合わせないと [曜日] は正しく表示されません。
ストップウォッチモードについて ※ストップウォッチモードには、ストップウォッチ機能とスプリットタイム機能があります

ストップウォッチ操作方法
① 通常時刻表示のときに、**C ボタン** を 1 回押す。→ストップウォッチモードに入る。
※曜日の表示が " S T W " に切り替わり画面左下に マークが表示します。
② **B ボタン** を押す。→計測がスタートし、再度 **B ボタン** を押すと計測がストップする。
※ **B ボタン** を押すごとにより計測がスタート、ストップ、スタート・・・を繰り返します。
③ **D ボタン** を押す。→計測時間がリセットされる。
④ **C ボタン** を押す。→通常時刻表示に戻る。
※ **C ボタン** を押さずに放置した場合は約 60 秒で通常時刻表示に戻ります。



スプリットタイム操作方法
① 通常時刻表示のときに、**C ボタン** を押す。→ストップウォッチモードに入る。
※曜日の表示が " STW " に切り替わり画面左下に マークが表示します。
② **B ボタン** を押す。→計測がスタートする。
③ **D ボタン** を押す。→"STW" の右に " SPL " と小さく表示されスプリットタイム (途中経過) を表示する。
※この間もストップウォッチの機能は計測されている状態になります。
④ **D ボタン** を押す。→計測が再開される。
⑤ **B ボタン** を押す。→計測がストップする。
⑥ **D ボタン** を押す。→計測がリセットされる。
⑦ **C ボタン** を押す。→通常時刻表示に戻る。
※ **C ボタン** を押さずに放置した場合は約 60 秒で通常時刻表示に戻ります。



ライト機能について

A ボタン を押すとライトが約 2 秒間点灯します。

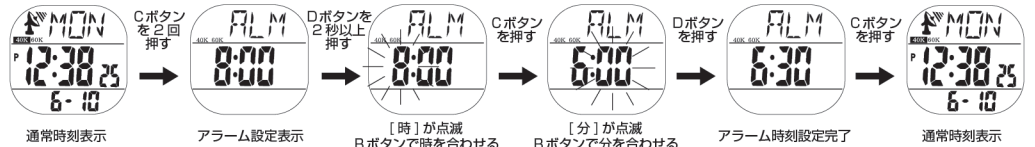
リセット機能について

操作中に不明な点が出てきた場合、リセット操作をして下さい。設定されている内容がお使い初めの状態に戻ります。
C、D ボタン を押しながら、**A、B ボタン** を同時に押して下さい。全ての機能がリセットされ、初期設定画面に戻り、電波受信を開始します。※手順を間違った場合はライトが点灯したままになることがあります。その場合は **A ボタン** を押すと約 2 秒後にライトが消えます。

アラーム時刻の設定

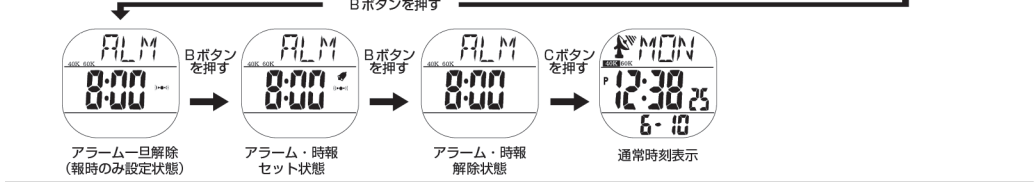
注意 設定中の点滅は約60秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して、通常表示に戻ります。

① 通常時刻表示のときに、**C ボタン** を 2 回押す。→アラーム時刻が表示されます。※曜日の表示が " ALM " に切り替わります。
② **D ボタン** を 2 秒以上押す。→「ビッ」と確認音が鳴り、アラーム時刻設定モードに入り、[時] が点滅します。
③ **B ボタン** を押して [時] を設定する。
④ [時] の設定が終了したら、**C ボタン** を押す。→[分] が点滅します。
⑤ **B ボタン** を押して [分] を設定する。
⑥ [分] の設定が終了したら、**D ボタン** を押す。→アラーム設定時刻が表示されて設定が完了します。
⑦ **C ボタン** を押す。→通常時刻表示に戻ります。
※アラーム時刻は[秒単位]の設定はできません。
※[午前]と[午後]を間違えないように注意して下さい。



アラーム機能の使い方

■アラームを鳴らす
① 通常時刻表示のときに、**C ボタン** を 2 回押す。→アラーム時刻が表示されます。※曜日の表示が " ALM " に切り替わります。
② **B ボタン** を押す。→アラームマーク が表示し、設定した時刻になると、アラームが鳴ります。
※アラームは鳴り始めから約 30 秒後に自動的に鳴り止まり、翌日の設定した時刻まで鳴りません。(オートストップ機能)
③ アラームを止めるときは**いずれかのボタン**を押す。
■アラームを解除する
① 通常時刻表示のときに、**C ボタン** を 2 回押す。→アラーム時刻が表示されます。※曜日の表示が " ALM " に切り替わります。
② **B ボタン** を押す。→アラームマーク が消える。
③ **B ボタン** を押す。→報時マーク が表示し、アラームは一旦解除されます。※このとき、報時がセットされます。
④ **B ボタン** を押す。
→アラームマーク と報時マーク が表示し、アラームと報時の両方がセットされます。
⑤ **B ボタン** を押す。
→アラームマーク と報時マーク が消え、アラームと報時の両方が解除されます。
⑥ **C ボタン** を押す。→通常時刻表示に戻ります。

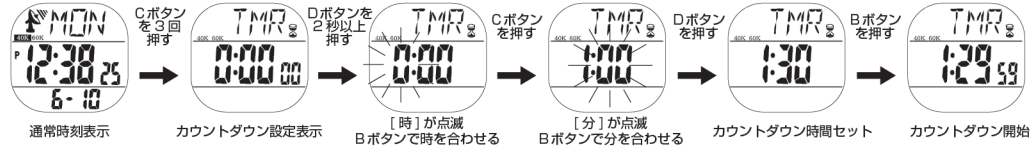


報時機能について

① 通常時刻表示のときに、**C ボタン** を 2 回押す。→アラーム時刻が表示されます。※曜日の表示が " ALM " に切り替わります。
② **B ボタン** を 2 回押す。→報時マーク が表示し、報時が設定され、正時になると「ビッ」と音が鳴ります。
※ **B ボタン** を 3 回押すと報時とアラームがセットされた状態になります。
③ 報時を解除するには、**B ボタン** を 2 回押す。
→報時マーク が消え、報時が解除されます。

カウントダウンタイマー機能について

① 通常時刻表示のときに、**C ボタン** を 3 回押す。→カウントダウン設定モードに入ります。
※曜日の表示が " TMR " に切り替わり マークが表示します。
② **D ボタン** を 2 秒以上押す。→「ビッ」と確認音が鳴り、[時] が点滅します。
③ **B ボタン** を押して [時] を設定する。
④ [時] の設定が完了したら、**C ボタン** を押す。→[分] が点滅します。
⑤ **B ボタン** を押して [分] を設定する。
⑥ **D ボタン** を押す。→[カウントダウン時間] がセットされ、**B ボタン** を押すとカウントダウンが開始します。
再度 **B ボタン** を押すとカウントダウンが一時停止します。続けてカウントする場合はもう一度 **B ボタン** を押します。
⑦ アラームを止めるときは**いずれかのボタン**を押す。
※最大 23 時間 59 分までカウントすることが出来ます。
※カウントダウン中に **C ボタン** を押すと通常時刻表示に戻りますが、カウントダウン機能は働いていますので、時間になるとアラーム音が鳴ります。
※カウントダウンタイマーのアラーム音は約 30 秒後に自動的に鳴り止まります。(オートストップ機能)

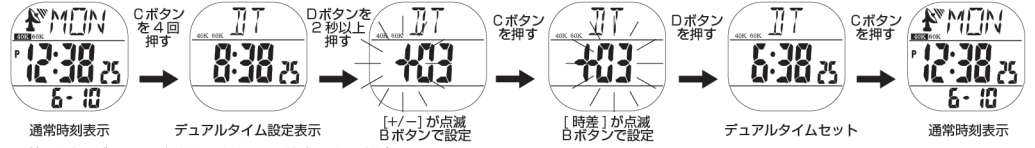


デュアルタイム機能について

デュアルタイム機能とは、現在時刻の他に時差のある別の地域の時刻を設定することが出来る機能です。
下記のグリニッジ標準時を基準とした《GMT タイムゾーン一覧表》を参考にして時差を設定して下さい。
※本製品は、日本の標準電波以外は受信できません。

《GMT タイムゾーン一覧表》	
GMTとの時差	都市名・地域
±0h	グリニッジ標準時 ロンドン、リスボン
±1h	バゴバゴ
±10h	ホノルル
±9h	アンカレジ
±8h	バンクーバー、ロサンゼルス
±7h	エドモントン、デンバー
±6h	メキシコシティ、シカゴ
±5h	ニューヨーク
±4h	サンティアゴ、ハリファックス
±3h	リオデジャネイロ
±2h	フェルナンド・デ・ノローニャ
±1h	フライア
±0h	グリニッジ標準時 ロンドン、リスボン
±1h	マドリード、パリ、ローマ、ベルリン、ストックホルム
±2h	アテネ、カイロ、エルサレム
±3h	モスクワ、ジェッジ
±4h	ドバイ
±5h	カラチ
±6h	ダッカ
±7h	バンコク
±8h	シンガポール、香港、北京、台北
±9h	ソウル、東京
±10h	グアム、シドニー
±11h	ヌーメア
±12h	ウェリントン

① 通常時刻表示のときに、**C ボタン** を 4 回押す。→デュアル時刻設定モードに入ります。
※曜日の表示が " DT " に切り替わり、[デュアル時刻] が表示されます。
※時差未設定時はグリニッジ標準時を表示します。
② **D ボタン** を 2 秒以上押す。→「ビッ」と確認音が鳴り、前回設定した時差が表示され、[+] または [-] が点滅します。
B ボタン を押して [+] または [-] を設定する。
※前回の設定により、[+] が点滅表示する場合と、[-] が点滅表示場合があります。設定したい場所のデュアル時刻の時差を《GMT タイムゾーン一覧表》を参考にして、[+] か [-] を **B ボタン** で設定して下さい。
③ **C ボタン** を押す。→数字が点滅します。GMT タイムタイムゾーン一覧表を参考に **B ボタン** で時差を設定して下さい。
④ **D ボタン** を押す。→[デュアル時刻] がセットされます。**C ボタン** で通常時刻表示モードに戻ります。
※デュアル時刻を確認したいときは、通常時刻表示モードのときに、**C ボタン** を 4 回押すとデュアル時刻が表示されます。



～使用例 デュアル時刻をシドニーに設定したい場合～
・ GMT タイムゾーン一覧表で時差を確認すると時差は、+10 時間となります。
・ 通常時刻表示から **C ボタン** を 4 回押した後、**D ボタン** を 2 秒以上押し、デュアル時刻設定モードになったところで、**B ボタン** を押して、[+] に合わせます。
・ 次に **C ボタン** を押して数字を点滅させ、**B ボタン** で +10 に合わせます。
・ **D ボタン** を押しデュアル時刻 (シドニーの時刻) を設定した後、**C ボタン** を押して通常時刻表示に戻して下さい。

ソーラーパワー駆動について

本製品は**ソーラーパネル**に当たる日光や電気の光を、エネルギーに変換して駆動します。日光もしくは照明の光を**ソーラーパネル**に当てて頂くと、電池の消費を抑えることが出来ます。
※このエネルギーを蓄電することはありません。
※光が当たっていないときは、リチウム電池で駆動します。